

教科目名 校外実習 (Factory Training)

学科名・学年 : 電気電子工学科 4 年 (教育プログラム 第 1 学年 ○科目)

単位数など : 選択 1 単位 (授業時間 30 時間)

担当教員 : 電気電子工学科科長, 電気電子工学科 4 年担任

授業の概要			
<p>本科目は技術者の仕事を模擬的に現場で体験することであり, このことを通して現在の自分自身の状況や社会から期待される人物像や専門的知識を把握し, 将来の社会人となる際の一助となるよう設けられている.</p> <p>受け入れ機関が実習生を受け入れる主な理由は, 社会や学校の要請に応え, 将来の技術者を育てるという社会的責任を認知しているからである. このことを自覚した上で, 失礼のないよう自己啓発に努めることが求められている. また, 現場では危険な場所もあるので「安全第一」を心がける.</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (D2), JABEE 目標 (d2d)	
<p>(1) 専門分野での自分の知識を確かめ, 生きた知識にできること (報告書, 報告会).</p> <p>(2) 社会から期待される人物像を具体的に把握し, その心構えができること (報告書, 報告会).</p> <p>(3) 研修先の人々の指導や協力を仰ぎながら自らの分担を見定めて与えられた問題を解決できること (報告書, 報告会).</p>			
回	授業項目	内容	理解度の自己点検
5 月	1. ガイダンス	1. 担任より校外実習に関するガイダンスを行う.	【理解の度合い】
5~7 月	2. 実習先の決定	2. 随時, 企業・大学等から実習内容, 期間, 受け入れ学科等が記載された書類が教育支援係に送付されてくる. 担任が学生に周知するので, 学生は担任を通じて申し込みを行う. 申し込みに必要な書類は企業毎に異なり, 履歴書, 志望動機等がある. なお, 学校 1 名などの条件がある場合は, 学科間調整が行われる.	
6~7 月	3. 受け入れ可否	3. 随時, 受け入れ可否の連絡が学校に送付されてくる. 受け入れ可となった学生は, 先方の指示に従って, 誓約書の郵送や交通チケットの手配などを行う.	
夏期休暇	4. 実習	4. 実習期間は, 1 日を 6 時間と換算し 5 日 (30 時間) 以上とする.	
9 月	5. 実習証明書および実習報告書の提出	5. 実習後, 実習を行った機関が記載した「校外実習証明書」, 及び各自でまとめた「校外実習報告書」をクラス担任に提出する.	
9 月	6. 報告会	6. 実習内容及び成果を発表する.	
履修上の注意		<p>○履修の詳細は学生便覧の「大分工業高等専門学校における校外実習, 課題学修及び特別学修に関する細則」を参照のこと.</p> <p>○実習機関に「校外実習証明書」の提出を依頼する.</p> <p>○実習を修了した学生は「校外実習報告書」を担任を通して学科主任に提出する.</p>	
教科書		なし	
参考図書			
自学上の注意		実習した内容を復習し, 次の実習までに要点をまとめておくこと.	
関連科目		工学実験Ⅳ, デザイン実習, プロジェクト実験Ⅰ (専攻科), 実務実習 (専攻科)	
総合評価		<p>達成目標の (1)~(3) について, 本人の校外実習報告書 (実習先からの評価書がある場合はこれを含む), 報告会の発表を総合して評価する.</p> <p>総合評価 = 報告会の評点 × 0.6 + 校外実習報告書の評点 × 0.4</p> <p>総合評価が 60 点以上を合格とする.</p> <p>再試験は実施しない.</p>	
		【総合評価】 点	